

令和2年6月15日発行 鷹山宇一記念美術館友の会
 〒039-2501 青森県上北郡七戸町字荒熊内 67-94 七戸町立鷹山宇一記念美術館内
 TEL 0176-62-5858 FAX 0176-62-5860 e-mail info@takayamamuseum.jp http://www.takayamamuseum.jp/



「少年の日の佛陀」(キャンバス・油彩、1947年、第32回二科展出品)

「少年の日の佛陀」

昨年行われた、美術館開館25周年記念「宇一が描いた蝶」展は、絵画を蝶の標本で再現する、というこれまでにない新しい企画になった。この展覧会が生まれたきっかけとなったのが「少年の日の佛陀」である。描かれた蝶を実際の蝶の標本で再現することにより、鷹山の色彩感覚、配置の妙に改めて驚かされた。

ここでは主題の「佛陀」に注目してみようと思う。鷹山90年の画業の中で、数多くの作品を残しているが、「佛陀」を主題にした作品は本作のみである。そのことから、私は本作には何か特別な思いが込められているのではないかと考えた。

本作が描かれたのは1947年。第二次世界大戦が終結し、明治以来の国家体制が崩壊し、社会体制が大きく転換した時期であり、この頃美術界もまためまぐるしい変転を繰り返していき、鷹山は終戦直後二科会再建に際して、東郷青児の呼びかけにより会員として復帰する。この頃から作品も戦前の版画やパステルから油彩画へと絞られていくのだが、鷹山の中でなにか大きな変化があったのだろうか。

鷹山は第二次世界大戦末期、海軍航空隊に召集された当時のことを次のように記している。

この圧迫により過去の記憶が甦えり、ようやく民族的意識をとりもどしたところであるが、然しこの民族意識は当時の日本の軍国主義的野望に協力同調するような野蛮なものでなく、大きな意味での東洋的幻想へのあこがれの復活でもあった。これは終戦間近に海軍航空隊に召集されきびしい茨の生活の中で、熟慮した時期である。(美術誌「美術ジャーナル」昭和三十七年七月号に掲載された「作家の記録 鷹山宇一」より一部抜粋)

「東洋的幻想へのあこがれの復活」とある。東洋的幻想へのあこがれは、鷹山が少年の頃から抱いていた思いである。西洋美術の流入や戦争など激動の時代の中、自身の作風を模索し、たどり着いたのは少年の頃から心に抱いていた「東洋的な東洋人的な絵画を描こう」という画家としての信念である。時代の波に翻弄され失いかけていた思いの復活は、戦後の鷹山の作品に大きな影響を与えたとはいえない。

また、本作が制作された翌年、鷹山は武井増子と結婚した。「絵描きでは飯は喰えない」と長い間独身だった鷹山だが、私生活においても大きな転機を迎えていたことも忘れてはならない。そもそも「佛陀」とはサンスクリット語で「目覚めた者」や「心理、本質、実相を悟った人」と訳す。

目覚めた者…まさにこの頃の鷹山を表す言葉ではないだろうか。この少年佛陀は鷹山が少年時代から変わらず持ち続けていた信念の再確認と、今まさにこれから新たに始まる画家人生への決意が込められており、その強い決意が佛陀として表現されたのではないだろうか。

学芸員 遠藤未奈子

鷹山宇一記念美術館友の会

令和2年度通常総会開催

総会書面議決結果表

議案	賛成	反対
議案第1号	218名	0名
議案第2号	218名	0名
議案第3号	218名	0名
議案第4号	218名	0名
投票総数	218名	0名
会員数	363名	
投票率	60.1%	

令和2・3年度 役員紹介

会長 下山恭美子(再任)
 副会長 奥山雅子(再任)
 事務担当 戸舘榮一(再任)
 会報担当 照井壽一(再任)
 理事 小川展子(再任)
 理事 小林光子(再任)
 理事 小向慎(再任)
 理事 葛原隆男(再任)
 理事 山本洋一(再任)
 理事 天間孝栄(再任)
 監事 工藤喜代子(再任)
 監事 田中淳(再任)

総会終了後に開催された役員会において、会長、副会長が再任され、本年度の事務

業体制が整いました。本年度も会員皆様のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

鷹山宇一記念美術館友の会令和2年度通常総会書面議決が6月10日迄の表決期限で開催され、令和元年度事業報告、貸借対照表並びに収支計算書及び令和元年度剰余金処分案、令和2年度事業計画(案)及び会員計画(案)並びに収支予算(案)、理事監事任期満了に伴う役員改選等全ての承認議案が原案の通り承認されました。なお、書面議決結果について左記の通り報告いたします。



「道」の記念碑から八戸市方面を望む。
大須賀海岸バス停から徒歩3分。

日本画家東山魁夷(ひがしやま かい) (1908年〜1999年)が代表作「道」(東京国立近代美術館所蔵)を1950年に開催された第6回日展に発表してから70年目にあたる今年、今までは車で通りにあたるだけだった種差海岸沿いに走る青森県道1号八戸階上線の「道」の記念碑を訪ねることにしました。どうせ訪ねるなら八戸市に住んでいる地の利を生かし、東山魁夷が「道」の相を得たという風景の四季折々の変化も楽しみたいと思い記念碑を訪ね始めています。思い立ったが吉日とばかりに2月下旬に出かけました。当日は真

東山魁夷画伯 「道」の記念碑を訪ねて



2月20日、5月29日訪問
 遊歩道ですれ違う見知らずの方々と笑顔で交わす「コンニチハ」「いいお天気ですね」等々の会話は、楽しくて新鮮でした。

冬とは思えないほど暖かい天気恵まれましたが草地には緑もなく寂しい風景でした。記念碑の説明文を読み「道」の画像を見てから改めて灯台方向を眺めたとき、確かに「道」のモデルとなった風景だということを実感することが出来ました。新型コロナウイルス緊急事態宣言が解除された5月下旬、外出自粛に伴う運動不足と気分転換を図るために2度目の訪問。葦毛崎展望台から記念碑まで海岸沿いの遊歩道を往復して新緑の風景を満喫しました。東山魁夷がスケッチを描いた季節は記念碑説明文によれば「ひとすじの道が、私の心に在った。夏の早朝の、野の道である。」そうですが、早起きは苦手なので次回の訪問は夏の午前中の早い時間にした訪問と思っています。

参考資料

- 種差海岸散策ハンドブック 八戸市
- 日経ポケットギャラリー 東山魁夷
- 現代日本紀行文学全集 補巻2
- その他観光パンフレット等

鷹山宇一記念美術館友の会
 会員 照井壽一(八戸市)

鷹山宇一記念美術館
News & Report
美術館再開しました！

新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受けて、臨時休館していましたが、約二ヶ月ぶりに再開しました。延期となっている「大正浪漫の寵児竹久夢二展」の新たな会期は下記をご覧ください。現在は常設展を開催しております。

これまで経験のないことで、スタッフ一同対策は手探りの状態ではありますが、お客様が安全に鑑賞できるように対策に努めております。

館内の感染症対策

館内の感染症対策を紹介します。



◎各所に消毒液を設置しています。入館時は手の消毒をお願いします。



◎展示室入り口に「お客様へのお願い」を掲示。



◎対面で販売を行う受付・グッズレジには飛沫感染防止のためアクリル板と透明ビニールカーテンを設置しました。



- ～当館での取り組み～
- ・消毒液の設置。
 - ・館内の見回りと換気の実施
 - ・受付、グッズレジに飛沫防止板を設置。
 - ・スタッフのマスク着用



←展示室前の廊下を白線で区切り右側通行をお願いしております。



←いつもの展示よりも、作品と作品の間を広めにし
て展示することで、お客様
同士が近くなりすぎずに
鑑賞することができます。
白線の位置で鑑賞するよう
お願いしております。

～来館されるお客様へのお願い～

- 必ずマスクの着用をお願いします。
- 「こまめな手洗い」にご協力をお願いします。
各所に消毒液を設置しておりますので、ご利用ください。
- 展示室内では、ほかのお客様と一定の距離を保ってご覧くださいようお願いいたします。
また、展示室内などでの会話はできるだけお控えいただき、静かなご観覧にご協力ください。
※作品は白線の位置でご覧下さい※
- 体調が悪そうの方へスタッフよりお声がけし、ご退出をお願いする場合がございます。
- 展示室前廊下は右側通行でご移動くださいますようお願いいたします。



大正浪漫の寵児 竹久夢二展

お待たせしました！

《会期》2020年8月22日（土）～11月8日（日）予定

※詳細につきましては、HPでお知らせして参ります。

常設展の様子

6月13日(土)からオープンした常設展の様子を少しだけご紹介します。



絵画室 1・2 は鷹山宇一の油彩画とデッサン



感染症対策のため作品間隔をいつもより広くとり、ゆったりとした空間で作品をご覧くださいます。



絵画室 3 は郷土の画家・二科の画家たち

デーリー東北新聞にて毎週月曜日掲載中！

絵画の蝶を追って

全10回掲載予定です。鷹山作品と作品に描かれた蝶を解説しています。



2回目は「湖畔の花」と「ヒメギフチョウ」を紹介。



1回目は「少年の日の佛陀」と「ウスバシロチョウ」を紹介。

7月中旬頃まで毎週月曜に掲載予定です。



館内には蝶の標本コーナーも作りました！記事で紹介された標本を週替わりで1作品紹介します。本物の蝶の美しさを蝶の解説と共に楽しみください。



4回目は「花・遊蝶」とアオタテハモドキを紹介。



3回目は「遊蝶・花」と「モンキチョウ」を紹介。

休館中の様子

◎作品調査の様子◎
新しく寄託を受けた作品1点1点について、写真撮りや、寸法を測るなどして、作品のデータをまとめました。



◎収蔵図書の整理◎
美術館にある収蔵図書や鷹山宇一蔵書を整理しました。



約二ヶ月間休館しておりましたが、休館中は他にも、収蔵庫の整理整頓、館内の備品チェックに着手できました。6月13日(土)から常設展を開催しております。皆様のご来館を心よりお待ちしております。

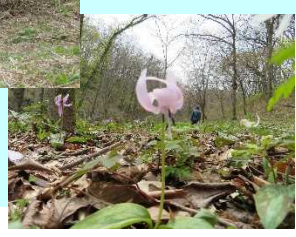
ちようちよくらぶ

前号で「ちようちよくらぶ」の会
員を募集しており
ましたが、残念な



ながら、今年度は、新型コロナウイルス感染
拡大防止の観点から、一緒にアミを振るう
事ができなくなってしまうました。美術館
が休館となり皆さんとの活動が自粛とな
っても、蝶は普段通りの季節に羽を広げ舞
います。私たちが待つてはくれないの
です。そこで、リーダーこと對馬康夫研究
員と共に調査・研究を続ける事にしました。
私たちの日々奮闘している様子をご紹介
いたします。

野外調査 1
カタクリの花が咲く頃から調査し
ていました。
カタクリには【ヒメギフチョウ】
がやってきます。
残念ながら今年は七戸で確認でき
ませんでした。



野外調査 2
七戸の蝶を採集しています。
七戸にはどんな蝶がいるか。
週1回は町内を回っています。

右の花は「ムラサキケマン」と
いって【ウスバシロチョウ】の
食草です。

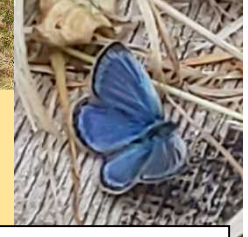
昨年に引き続き、驚愕の白いウ
スバシロチョウを追い求めま
した。結果は・・・
またの機会に



蝶の観察 1
【ヤマトシジミ】
食草
・カタバミ

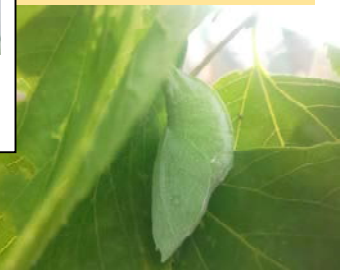


美術館裏で
シジミ蝶の幼虫発見！！



5/15で蛹になって・・・
こちらが羽化した姿です。

蝶の観察 2
【オオムラサキ】
国蝶です！
食草
・エゾエノキ
現在美術館内で、飼育中！蛹になりました。



気付いたらなんと1回目の脱皮していました。
幼虫の隣をよおーくご覧下さい。



このプレートをつけて
アミを持っています。
決して変な人ではないので、
気軽に声をかけて下さい。

【第8回全国版画コンクール】
応募者全員「入選」！！

日本板画院主催の版画コンクールに子
ども4名、大人7名の計11名が入選。
館内に展示しておりますので是非ご覧下
さい。



昨年11、12月に行われた年賀状木版画の作
品です。今年度も沢山の参加お待ちしております。

令和2年度が始まって
早3か月が経りました。
しかしながら、「美術館あーとくらぶ」は今
だ再開できずにいます。参加される皆さま
の安全を考え、もう少しお休みを頂きます。
その間、様々な企画を考え、私自身、技術を
伸ばすため日々学習しております。開催ま
でもうしばらくお待ちください。
そして、今年度もどうぞよろしくお願
いいたします。



教育普及員／織川孝子

美術館日誌

◆4月◆

▼1日(水) 職員辞令交付式
▼8日(水) office 365更新
(リコー、宮崎氏)

▼4月8日(水) ～5月20日(水)
美術館収蔵図書分類整理
鷹山宇一蔵書分類整理

▼9日(木) 蝶採集(1)
(ちようちよくらぶ)

▼10日(金) 看板引取(青森スタジオ)
▼11日(土) 友の会監査
(美術館2階)

▼15日(水) 蝶採集(2)
(ちようちよくらぶ)
▼23日(木) 収蔵絵画作品等監査
(監事・理事長・常務理事
館長・遠藤)

▼30日(木) 蝶採集(4)
(ちようちよくらぶ)



▲蝶採集をする職員
<七戸町・東八甲田家族旅行村
創造の森>

◆5月◆

▼7日(木) 財団会計監査
(監事・理事長・
常務理事・館長・成田)

▼8日(金) 蝶採集(5)
(ちようちよくらぶ)

▼9日(土) 理事会(美術館2階)
▼11日(月) 電気点検(佐藤電気)
▼14日(木) 蝶採集(6)
(ちようちよくらぶ)

▼16日(土) 友の会役員会
(美術館2階)

▼20日(水) 蝶採集(7)
(ちようちよくらぶ)
▼22日(金) 第一展示室屋根修繕
(三輪建設)

▼26日(火) 蝶採集(8)
(ちようちよくらぶ)
▼28日(木) 友の会総会案内発送
(美術館2階)

▼3日(水) 七戸町所有作品確認
(生涯学習課 豊川氏)

▼2日(火) 自動ドア点検
(ナブコシステム)

◆6月◆

▼4日(木) 蝶採集(9)
(ちようちよくらぶ)

▼5日(金) 新型コロナウイルス感染
対策用パネル取付
(青森スタジオ)

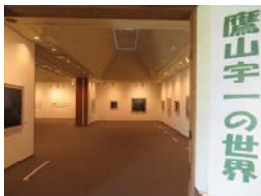
▼9日(火) 河北新報取材
デーリー東北取材
蝶採集(10)
(ちようちよくらぶ)

▼11日(木) 展示設営(青森スタジオ)
作品チェック
(青森県立美術館
美術企画課長 池田氏)

▼13日(土) 常設展オープン
▼16日(火) 蝶採集(11)
(ちようちよくらぶ)

▼17日(水) 持続化給付金申請サポート
(十和田・成田)
▼23日(火) 消防設備点検(昭和電気)
▼25日(木) 蝶採集(12)
(ちようちよくらぶ)

▼27日(土) 友の会会報発送作業
▼28日(日) 版画家戸村春樹氏作品調査
(八戸市)



▲常設展オープン!

新しいスタッフの紹介

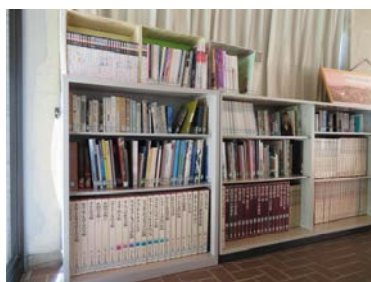


令和2年4月から、受付/教育普及員補助というお仕事をさせていただくことになりました。美術館で働いてみたいとずっと思っていました。

何かと不手際な事が多く、至らない面も多々あると思いますが、美術館の一員として少しでも皆様のお役に立てるよう頑張りますのでよろしくお願いたします。

教育普及員補助 笹木 しずえ

▼リニューアルした図書コーナー



▲スタンドガラスの微笑み

「大正ロマン」を尋ねて
竹久夢二編

岩手県花巻市東和町土沢の「萬鉄五郎記念美術館」(1984年5月開館)で2012年に開催された「大正ロマン・昭和モダン展―竹久夢二、高島華宵とその時代―」を鑑賞。同年10月には一度は訪れたいと思っていた石川県金沢市を観光する機会に恵まれたとき、郊外に足を伸ばして竹久夢二(1884〜1934)が1917年に3週間ほど滞在したという湯涌温泉に宿泊。「金沢湯涌 夢二館」(2000年4月開館)を「夢二式美人」に迎えられる夢二のデザイン画や美人画を鑑賞しました。



萬鉄五郎記念美術館外観
○マスク無しで気楽に旅行できた日々が懐かしい。厚生労働省発表の「新しい生活様式」での旅行を模索中・・・。



宵待草：待てど暮らせど来ぬ人を
宵待草のやるせなさ
今宵は月も出ぬそうな

2015年には、盛岡市「プラザおでつて」6階の「盛岡てがみ館」(2000年6月開館)で開催された特別展「竹久夢二の世界」では、夢二が表紙絵と作詞を手がけたという「セノオ楽譜」を中心に鑑賞しました。

夢二については、竹久夢二作詞、多忠亮(おおのただすけ)(1895〜1929年)作曲、1918年「セノオ楽譜」(セノオ音楽出版社)から発刊され一世を風靡した「宵待草」という曲によっても知っていましたが、画家高島華宵(たかばたけかしよう)(1888〜1966年)については、よく知らなかったのでネット等で調べたところ、1984年に弁護士・鹿野琢見(かのたくみ)によつて創設された東京都文京区にある私立弥生美術館(1984年6

月開館、写真下段右)で常設展示されていること、併設して竹久夢二美術館(1990年11月開館)があることを知り、東京都にいったときには両美術館を訪問するようになりました。弥生美術館の初代館長は、竹久不二彦(竹久夢二の次男)が努めていたそうです。

本年1月上旬に漫画家・田河水泡(1899〜1989年)の遺族から竹久夢二美術館が夢二の未公開作品「サーカス」の寄贈を受けたという新聞記事を読み、鑑賞したいと思つていますが首都圏への旅行は、いま暫くは控えたいと思つています。

楽しみにしていた鷹山宇一記念美術館の特別展「大正浪漫の寵児・竹久夢二展」は、新型コロナウイルス感染症の影響で「もしかしたら中止かも?」と思つていましたが延期になりホッとしました。

感染症予防対策等、開催に向け



竹久夢二像(夢二館)



の準備に職員の方々は大変でした。大正ロマンを代表する画家の作品を地元で鑑賞できる貴重な機会だと思つて宜しくお願ひします。開催を心待ちにしております。



参考資料等

花巻市公式ホームページ、金沢湯涌夢二館ホームページ、弥生&竹久夢二美術館ホームページ、東京都美術館案内
旺文社発行2017年版、その他

鷹山宇一記念美術館友の会

会員 照井壽一(八戸市)

～令和2年度第1回研修旅行のご案内【予告】～ 東山魁夷・唐招提寺御影堂障壁画展

令和2年度研修旅行を下記のとおり計画しておりますが、新型コロナウイルス感染拡大の状況等を考慮し、募集開始は9月発行の会報第100号で行う予定です。

令和2年度 第1回研修旅行【予告】

日時：令和2年**11月15日(日)**

研修先：盛岡市 岩手県立美術館

参加費：**7,000円**(入館料、昼食代、交通費等含む)

募集人員：先着30名(最少催行人員は20名)

研修行程(予定)

7:30 みちのく銀行十和田支店前
7:55 七戸南公民館
8:00 鷹山宇一記念美術館
10:30 岩手県立美術館
13:00 昼食(盛岡市内ホテル予定)
15:30 盛岡市内出発
18:00 鷹山宇一記念美術館着
※詳細日程は、後日参加者にお送りします。



唐招提寺御影堂障壁画再現展示イメージ

◆戦後を代表する日本画家、東山魁夷は、清澄で深い情感をたたえた風景画により、戦後の日本画の世界に大きな足跡を残しました。自然と真摯に向き合い、思索を重ねながらつくりあげたその芸術世界は、日本人の自然観や心情までも反映した普遍性を有するものとして評価されています。なかでも、制作を受諾してから完成まで10年を費やした唐招提寺御影堂障壁画は画家の記念碑的大作です。東山は、多くの苦難を乗り越えて中国から来日し唐招提寺を開基した鑑真和上に捧げるため、日本や中国各地を歩いてスケッチを重ね、いく度も構成を練り、生涯のすべてをかける気持ちでこの仕事に臨みました。制作は二期に分けられ、第一期として昭和50年に奉納した《山雲》《濤声》では彩色画で日本の自然を描く一方、第二期(55年奉納)の《揚州薫風》《桂林月宵》《黄山曉雲》では中国風景を題材に水墨表現に挑み、新境地を拓いています。本展は、通常は非公開となっているこの障壁画全68面を展示するものです。

(豊田市美術館HPより引用)

新規会員入会お誘いのお願いと 友の会会員登録更新のお願い

令和元年度も会員の皆様には、友の会運営に多大なご理解とご協力をいただき、誠に有り難う御座います。新年度も友の会では、鷹山宇一記念美術館の応援と会員の皆様に喜んで頂ける研修旅行、講演会等を企画し、微力ながら地域文化の発展に寄与していく所存でございます。尚、更新及び新規入会手続きは、美術館窓口と同封の郵便振替により随時行っております。

○友の会の事業内容

- ①県内外美術館研修視察旅行(年2～3回)
- ②海外美術館研修旅行
- ③美術館作品購入基金への協力
- ④鷹山宇一記念美術館ボランティア協力
- ⑤会報の発行
- ⑥その他(美術講演会の開催等)

○一般会員

年会費 3千円
特典 ①無料入館券3枚。会員証提示により入館料2割引

- ②ミュージアムグッズ1割引
- ③研修会・講演会への招待、優待
- ④他美術館等の視察研修への優待参加
- ⑤会報の配布

○特別会員

年会費 1万円
特典 ①一般会員特典に加えて

- ①会員証提示により個人・法人会員とも本人及び同伴者1名まで無料入館
- ②新規加入の方に画集1冊贈呈

○賛助会員

年会費 2万円
特典 ①一般会員特典に加えて

- ①会員証提示により個人・法人会員とも本人及び同伴者3名まで無料入館
- ②新規加入の方に画集1冊贈呈
- ③特別企画展の都度、招待券を贈呈

◇詳しくは、美術館までお問い合わせ下さい。

編集後記

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面表決となった通常総会も無事終了。今後とも会員皆様のお力添えを頂きながら、鷹山宇一記念美術館を応援して参ります。会報作成へのご協力をお願い申し上げます。(照井壽一)

★お便り募集中

文字数 1,200字以内
締切り令和2年8月末日迄
友の会会報100号へのお便りをお待ちしています

★お知らせ

会報第99号から全ページをカラーにしました。友人知人との楽しい旅行記等に写真を添えてご投稿をお願い致します。